

◆ 地盤改良を施工中の治水対策現場に訪問しました

- 吉田川の緊急治水対策現場で、深層混合処理工法である**大口径超高圧噴射攪拌**工法について見学しました。
- **高圧噴射**と**機械攪拌**の2つの工法を組み合わせることで、土留め壁や基礎杭等の構造物が密着した箇所であっても、高い掘削エネルギーによって均質に混合された改良体を造成することができます。



高圧噴射攪拌の様子【写真1】

➤ **SJMM-Dy工法 (大口径超高圧噴射攪拌工法)**

→高圧噴射工法の一つであり、改良材をジェット噴射し、管を引き上げながら地盤改良を行います。大口径化により、従来の工法（高圧噴射攪拌工法）と比較して1.5倍の改良断面を得られたことで、工期短縮・コスト縮減が見込めます。

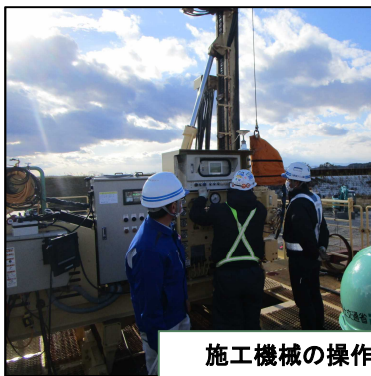


施工機械について説明【写真2】

◎機械施工のポイント

- ・スライドベース（自走式台車）による機械移動を採用。
- H形鋼を利用することで簡易仮設による施工が可能となります。

◆ 実際に体験した若手職員の声



施工機械の操作管理【写真3・4】

施工機械の移動がモニターで図化されているため、より精密に改良を行えることを確認・理解できました。

改良材の流動性を確保するために、施工条件に応じて現場での製造が必要となることを理解できました。



スラリー(改良材)製造現場【写真5】

～ひとこと～

今回は、2つの工法を組み合わせることにより、効率的な地盤改良ができることを理解しました。様々な工法を学んだ上で、各現場に適した工法を見極める力を今後身に付けていきます。